

しせきおじまじんやあと
史跡小島陣屋跡について

小島陣屋跡は、江戸時代中期に成立した 1 万石の大名、^{たきわきまつだいら}瀧脇松平氏の居所です。

宝永元年（1704）、駿河國小島（現在の静岡市清水区小島本町）に、松平信治が陣屋を構えたのが小島藩の始まりで、以後明治元年に上総国に移封になるまでの 164 年間、安倍・有度・庵原の 30 力村を支配する一万石譜代大名として藩政を展開しました。

小島陣屋跡は石垣を多用し、三段の郭をもつ小城郭風の縄張りを特徴とし、大手の一部では高さ 4 m に達する石垣も見られます。明治になり廃城となった後、しばらく小学校として利用されていましたが、昭和 3 年に建物が取り壊され、現在では石垣がその名残をとどめています。また、小島藩御殿建物（静岡市指定文化財）は国道沿いに移築され小島公会堂として使用されてきました。

城郭を思わせる石垣が良好に残り、江戸時代中期における大名陣屋の在り方と構造を知る上で貴重であるとして、平成 18 年 7 月 28 日に国指定史跡に指定されました。

令和 4 年度より、「史跡小島陣屋跡整備基本計画（平成 30 年 3 月策定）」に基づき、本格的に史跡の整備を開始しています。

整備の内容は主に①国道沿いに移築されている小島藩御殿建物（御殿の書院）の原位置への再移築（令和 6 年 11 月移築復原工事完了）、②便益施設（トイレ、駐車場）の設置（令和 8 年 3 月トイレ設置工事完了）、③史跡整備（舗装や建物の平面表示、大手通路の復元等）です。整備中及び整備後も史跡を積極的に公開・活用し、その本質的価値を多くの人に伝えていく取組みを行っていきます。

名 称：史跡 小島陣屋跡

所 在 地：静岡県静岡市清水区小島本町字構内、小島町字桑原

史跡指定面積：19,243.54 m²

全景



（令和 7 年度撮影）

主郭石垣・小島陣屋御殿 書院



（令和 7 年度撮影）